

平成 24 年 5 月 21 日

南の風Ⅲ

南部ミニバスケットボール連盟

会 長 藤原 敬一

横浜市春季大会南部予選が、5月20日（日）無事終了しました。役員、関係者、各チームの保護者会の皆様ありがとうございました。特に厳しい日程の中、会場を提供してくださいましたチームの皆様に重ねて御礼申し上げます。

結果は男子優勝が、六ッ川、第2位が六浦南、第3位が石川、第4位が洋光台でした。女子は優勝が永田台、第2位が並木、第3位が磯子、第4位が別所でした。男女上位3チームが、6月10日（日）から始まる横浜市大会に出場することになります。南部の代表として活躍を大いに期待したいと思います。

さて、男女の準決、決勝を観戦した総評を書いてみます。まず、男女とも新人戦の時に比べ、どういう戦術で戦うのかがはっきりしていたと思います。チーム事情（6年生の数や低学年人数、また新入部員のあるなしなど）もあり大変だと思いますが、監督、コーチの苦勞が伝わってきました。例を挙げてみます。オフェンスでは、柱となる選手を中心に組み立てるチームが多かったです。シューターとして、ボール運びの要として、あるいはリバウンダーとしてなど、一人で何役もこなさなければならない選手もいました。ディフェンスでは、小さくゾーンで守るチーム（中をしっかりと守るため）、プレスに行くチーム、オールコートでマッチアップ気味に守るチーム、しっかりマンツーマンで守るチームなど様々でした。この時期のチーム状態を鑑みての戦術だと思われます。全体を見て気になったことがあります。

まず、シュートです。下半身の使い方ができていない（ボールのもらい方）選手が多かったです。これは、「まだ春だから」ではいけないと思います。ハビットにボールをもらった時のトリプルスレットを練習すべきです。またそれに付随することですが、ボールをもらった瞬間にディフェンスの距離に関わらず、ワンドリブルしてしまうプレイヤーが多かったです。ボールをもらった時は、必ずトリプルスレットでリングに集中することが大切です。ディフェンスが出てきた時にドリブルで抜き去ることが基本です。また、ジャンプシュートというスキルがありますが、「なぜジャンプシュートが必要なのか」という根拠を選手に説明することも大切だと思います。

次にディフェンスです。足の使い方（正しいフットワーク）が分かっていない選手が多いです。もちろんこの時期ですから仕方がないと思いますが、敢えて書きます。足幅やステップの指導は、コーチによって考えが色々ありますが、継続することが大事です。そして、ステップはどう使うのか、コースチェックなのか、ラインへの追い込みなのかなど、ねらいを明確にして指導したいものです。さらに、ポジションがあります。1線、2線、3線の位置、それぞれのステップの使い方など練習に取り入れていけばいいのではないのでしょうか。

まだ春なのか、もう春（夏？）なのか。教える順序、内容を吟味しましょう。プロ野球楽天の元監督、野村克也氏の言葉「選手やコーチの成長を阻むものとして、『妥協』『限定』『満足』がある。」われわれ指導者は、肝に銘じていきたいと思います。 ※中学、高校の感想の続きは次回とします。